



# 令和5年度 佐潟周辺の 植生調査等 について

令和6年3月27日

(公財)新潟県都市緑花センター

久原 泰雅

# 希少種とその生育状況（結果）



## ヤナギトラノオ

例年同様、自然生態観察園、野鳥観察舎前、上潟全域で確認。



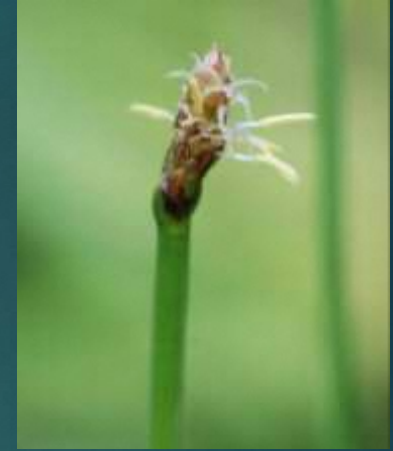
## サデクサ

湿地センター前。減少等のため、調査必要。



## シラスゲ

例年同様に下潟北側の道路沿いで確認。



## スジヌマハリイ

例年同様に上潟の大清水付近で確認。生育地の管理が必要。



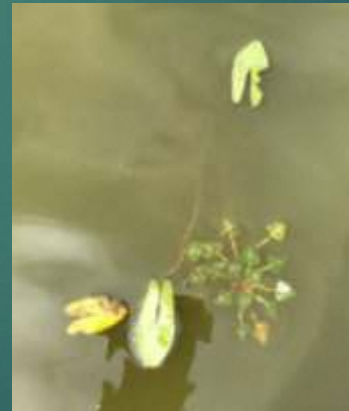
## デンジソウ

県内で野生絶滅したが、佐潟の栽培株は残っており、数か所に移植して生育を観察している。



## ハンゲショウ

例年同様に自然生態観察園、下潟南西側の杉林前の湿地で確認。



## オニバス

本年度も幼个体が確認されるものの、生育には至らなかった。



## ミズアオイ

3年前まで「さかたん」田んぼで多数生息していたが、コロナ禍で利用が無くなってから確認できていない。

# 佐潟の希少植物とその分布



- 今年度確認できた地点
- 今年度確認できなかった地点

※その他、生態園でミズタガラシ (*Cardamine lyrata*) の確認報告あり、今後調査予定

# 分布に変化が見られたその他の植物



## 下潟のハス

ハス復活プロジェクト（佐潟と歩む赤塚の会）の活動により、6年ぶりにハスが復活



## エビモ

生態園等で確認されていたエビモが見られなかった



## 上潟のハス

上潟のハスの激減が確認された



## マコモ

分布の減少が懸念される

# 分布に変化が見られたその他の植物



# 分布変化が見られた植物

## 【下瀉のハス】



### 水門のドロばきの開放

水門のドロばきを開くことで、佐瀉下瀉の水位（水門での数値）を3.59m（5/22）まで下げることができた。



### ハス植栽柵の作成

水位低下時に、植栽柵を設置し、ハスを保護しながら栽培を開始



### 植栽柵のハスの生長

順調にハスは成長。



### 植栽柵の外に生長

柵内で十分に生長した後、柵の外へ生長を続けた。

# 分布変化が見られた植物

## 【下潟のハス】



### 柁で囲わなかったハス

柁で覆わなかったハスは生育が見られなかった。

### アカミミガメによるハスの食害

柁外のハスがアカミミガメの食害を受けていることが確認された。

⇒2017年に佐潟下潟のハスが絶滅した直接的な原因かは不明だが、特に個体数が少ない場合には被害が大きいと考えられたため、駆除活動を開始。



### ハス植栽柁の作成

水位低下時に、植栽柁を設置し、ながら栽培を開始



# 分布変化が見られた植物

## 【上潟のハス】



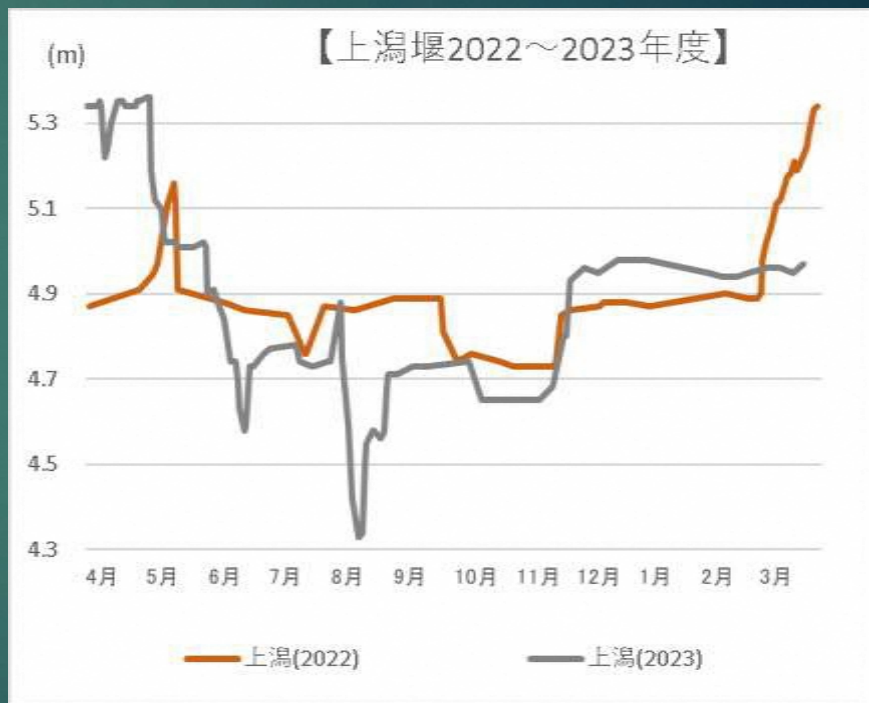
### 上潟のハスの激減

昨年も上潟のハスは少なめだったが、今年はさらに激減し、ほんのわずかしか個体が確認できなかった。



### クサガメ

上潟ではアカミミガメよりクサガメが多く確認された。ハスを食害することもある。



### 上潟の水位変動

上潟の水位は猛暑の影響が色濃く表れた。



# 分布変化が見られた植物

## 【エビモ】



### エビモ

猛暑の影響か、流水や湧水域に生育するエビモは確認できなかった。

# 分布変化が見られた植物

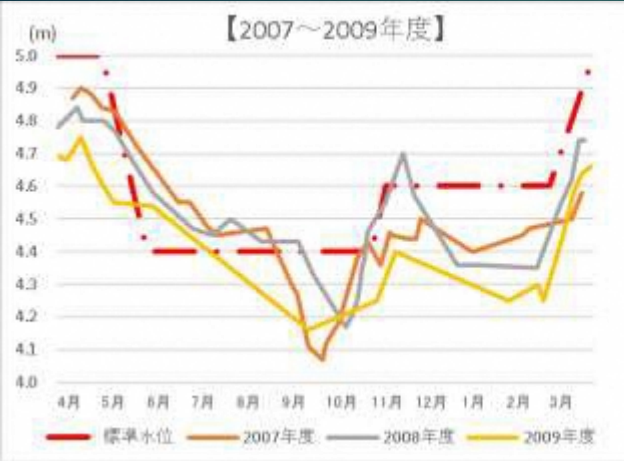
## 【マコモ】



マコモ  
分布域の減少が見られる。

⇒ ハクチョウ等、水鳥の食害による影響が懸念される。

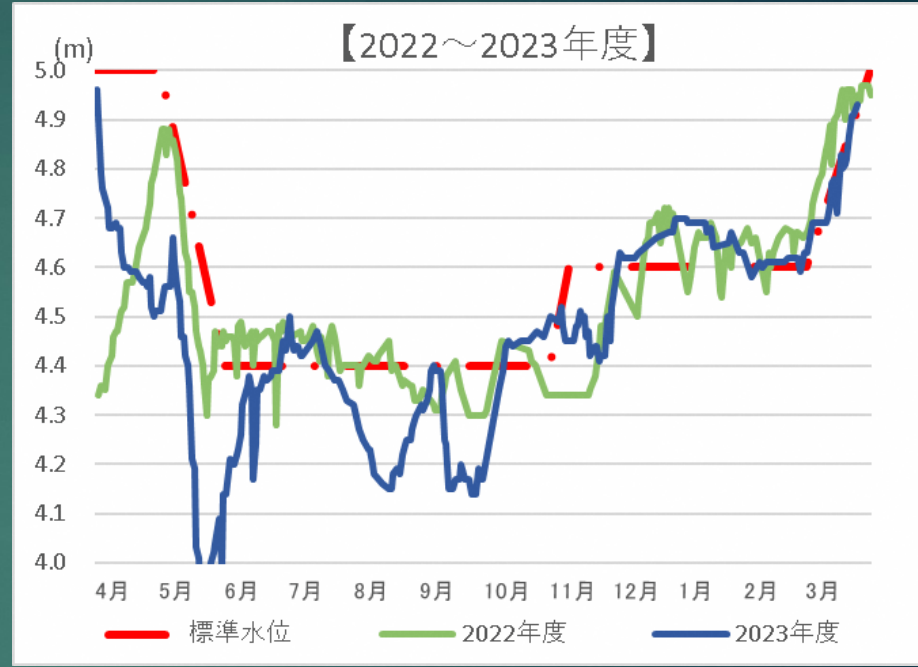
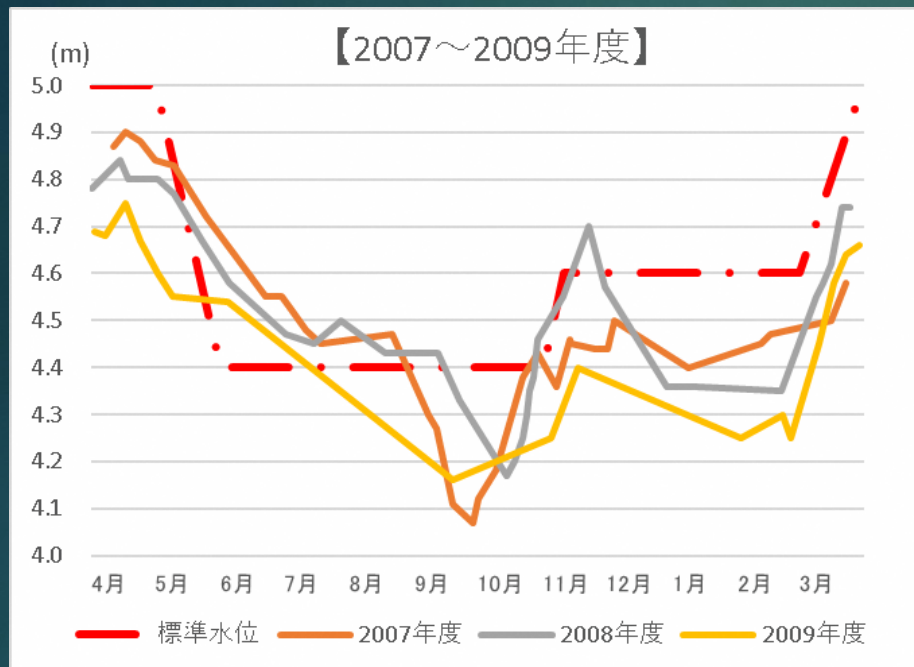
# 水位管理と植生への影響：佐潟下潟の水位変動



## 水位管理の再開

今年度は5月のドロばき水門の開放、夏の猛暑などにより、著しい水位低下を確認（最低水位（5/22）3.59m）。このことで、ハスの植栽柵の設置や植え付けが可能となった。

# 水位管理と植生への影響：佐潟下潟の水位変動



## 水位管理の再開

一方で、かつての水位管理の再現とはなっていない。

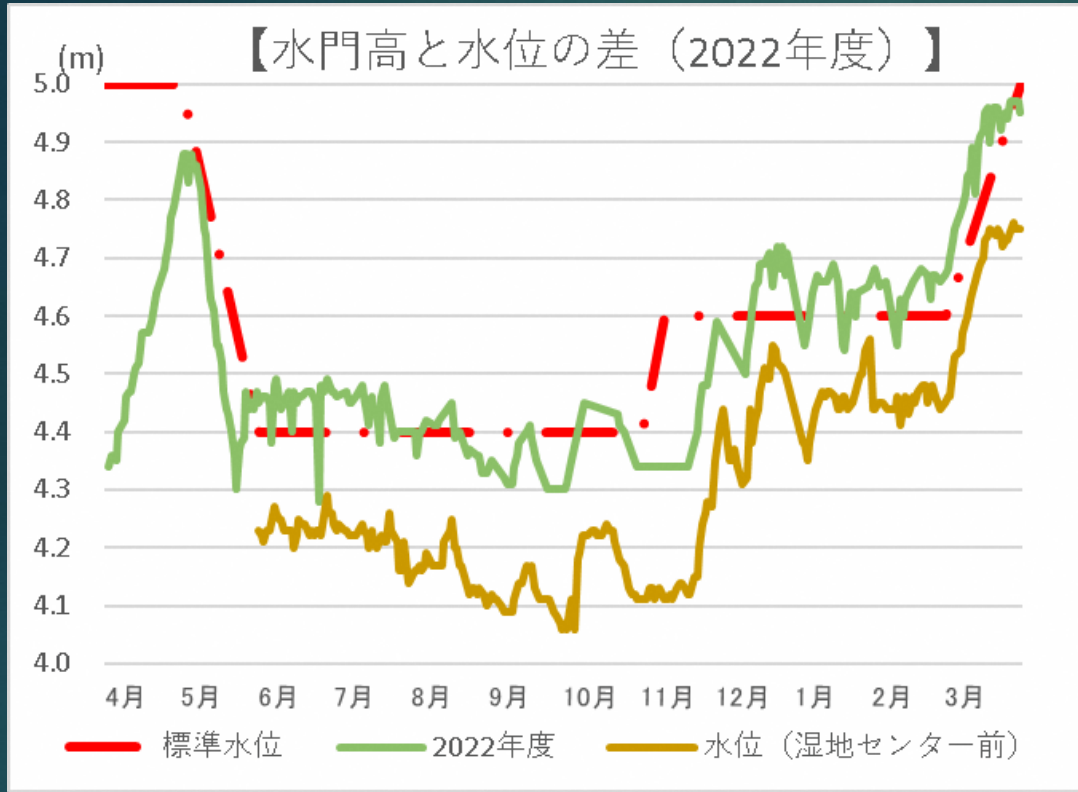
⇒ 今後の水位管理について再検討が必要。

## カラスガイの確認

水位低下の際、多数のカラスガイの生育を確認。



# 今後の水位管理：水門の水位表示と基準水位との差異



水門の水位表示と湿地センター前の水位表示で約22cmの差異が確認された。



さかたんのハス田の様子

以前より明らかに水位が低い様子を確認された。

# 今後の管理に関する提案

## 1. 水位管理

- ・ 標準水位から水門の目盛りで約20cm上げた水位での管理。
- ・ 5月にドロばき開放による濁水の排除で水質改善とハスの植栽を実施。
- ・ 雨の多い時期に水門調整による水替えを実施し、水質を改善。

## 2. アカミミガメの捕獲

- ・ ミシシッピアカミミガメの個体数制御を積極的に実施

## 3. 植栽柁の追加

- ・ 植栽柁を追加し、ハスの復元を即す。

## 4. 濁の積極的な利用を推進

- ・ 物質循環や攪乱を即すため、レンコンの収穫や漁などの佐濁資源を積極的に利用できる環境を作る。